



1 活かせるIT技術,成果報告



卒業研究発表会の様子

3月7日(火)、卒業研究発表会(1日目:18名)が開催され、IT技術を活かした成果報告がありました。主な研究は次の通りです。

鈴木竜馬さん(佐竹高卒)は、オープンキャンパスで高校生に注目された「インタラクティブアート」を製作しシステムを紹介しました。

綾戸悠騎さん(土浦工高卒)は、AIを活用し歩行者通行量調査システムを開発しました。映像から歩行者の人数や男女も判別します。

小林佑太郎(勝田工高卒)は、モバイルプロジェクション型AR案内システムを製作しました。博物館等での使用も目指し、来場者が館内を楽しく見学できる支援システムです。



インタラクティブアート



オープンキャンパスのモバイルAR案内システム

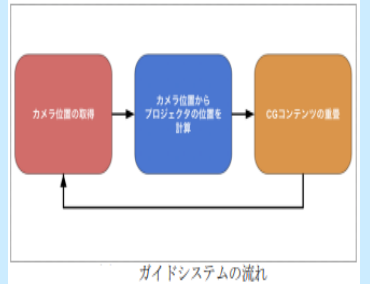
3 卒業研究発表会スナップ!

■AR案内システム



AR案内システムを開発した小林佑太郎さん

博物館での利用について尋ねたところ小林さんは「これ一台で、グループで展示を楽しむことができます」と話していました。



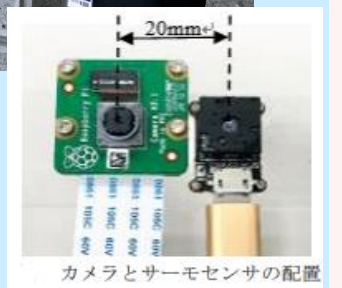
ガイドシステムの流れ

■熱心に尋ねる1年生



質問する1年生

体温測定管理システムのカメラとセンサーの精度について質問していました。



カメラとサーモセンサーの配置

■オンライン参加企業



オンラインで参加する企業

卒業研究発表会は、就職先となる企業にもオンラインで参加頂きました。発表後に質問や助言を頂きました。

2 卒業研究を真剣に学ぶ

卒業研究発表会には、来年度の研究テーマ選定の参考を兼ね、1年生全員が出席しました。

2年生の発表に耳を傾け、真剣にメモを取っていました。発表後の質疑応答では、積極的に挙手し質問を投げかける姿が、印象的でした。

三木悠矢さん(水戸葵陵高卒)は「難しい用語や、工夫点を確認することができた」と話していました。依田武紀さん(守谷高卒)は「体温測定時の、測定誤差について質問させていただきました」と学びを深めていました。



熱心に質問する1年生



メモを取る1年生

